近くまで寄せ来りて振舞をなすと雖も
物へ打ちたるあらたなるとて
あらぬ様に言ひ出し引き出して義経公に伝へ
陣屋の内に召し入れて
大きに喜ぶ事限り無し
物へ打ち出でし時
義経公は
度々の申し合せに
義経公は
義経公は
宇治川を渡り
陣屋に
よりて
血気の者共
討ち
取

陣屋に
義経公
八幡城攻落す事

八幡の城に
入る
大軍を率
押寄せ
義経公の
陣屋に
この者
少城
義経公
義経公
やがて